

(3) 学習意欲を高める具体的な手だて

学習意欲を高めるためには、実態を十分把握した上で集団や個に応じたかかわりが必要である。

ア 学習意欲を高めるポイント

- ◇ 学習への興味・関心及び苦手な内容について実態を把握する。
- ◇ 授業形態の工夫や学習方法の具体的説明など、授業に集中できる環境を整える。
- ◇ 学習する動機付けや好奇心をかき立てたり、やる気を引き出したりする工夫をする。
- ◇ 日ごろから発表や意見を肯定的にとらえ、共感的人間関係を構築する。
- ◇ 児童生徒の成長を評価するとともに、達成感を実感することができる場面をつくる。

イ 学習意欲を高める場や機会にするために

授 業

- 人の発言をしっかりと聴き、相互に意見交換し、認め合い、学び合う場や機会を設ける。
- ティーム・ティーチングや少人数学習、習熟度別学習等の工夫をする。
- 何につまずいているのか、何に興味・関心があるのかを事前に調査する場や機会を設ける。
- 教材の精選により知的好奇心に訴える課題を提供する場や機会を設ける。
- ソーシャルサポートの技法を活用した場や機会にする。
(学習活動に情緒的サポート、情動的サポート、道具的サポート、評価的サポートを取り入れる。)
※ センター研究紀要第110号参照
- 的確な発問と、児童生徒の発表や意見を評価する場や機会を設ける。
- 児童生徒が十分に思考したり、観察したりする場や機会を設ける。
- 相互に体を動かしたり、作業的な体験学習をする場や機会を設ける。



日常の場面

- 授業態度の落ち着きや、遊びと勉強のけじめなど、日ごろの様子を観察する場や機会を設ける。
- 現在の児童生徒のよいところを発見し、自己評価や自己認知を高める場や機会を設ける。
- 段階的に難易度を上げるスモールステップによる課題提供の場や機会を設ける。
- その時々で、個に応じた承認、賞賛、激励等、評価を行う場や機会を設ける。
- 児童生徒同士の承認、賞賛、激励により達成感を味わわせる場や機会を設ける。

学年・学校行事

- 目的意識を明確にする活動を取り入れる場や機会にする。
- キャリア教育を通じて、勤労観、職業観を育成する場や機会を設ける。
- 何を、なぜ、学ぶのか、学習方法、評価の説明等、各教科等のガイダンスを行う場や機会を設ける。

ウ 学習意欲を高める教師のかかわり

- 黒板はきれいですか？ 教室は整然としていますか？
- チャイムと同時に授業を開始し、終了していますか？
- 板書は、児童生徒が後で振り返ることができるように分かりやすくなっていますか？
- 板書の文字の大きさは適切ですか？(最後部の児童生徒に見える文字ですか？)
- 声量は適切ですか？(最後部の児童生徒に聞こえますか？)
- 児童生徒の目を見て、名前をきちんと行って指名していますか？
- 全員に指名していますか？ 指名が一部の児童生徒に偏っていませんか？
- 発問は適切ですか？
- 児童生徒が発表したことについてすべて受け止めていますか？ 発表を聴く姿勢はできていますか？
- 学習進度の調節ができていますか？
- 考える時間を十分与えていますか？
- 間違った解答をしたとき、叱ったり、嫌みを言ったりしていませんか？
- 課題(宿題)の出し方(難易度・量)は適切ですか？
- 課題に対する評価を確実にしていますか？
- 個に応じた評価をしていますか？
- 将来なりたいものなどの進路希望についての教育相談をしていますか？



エ 学習意欲を高める教育活動例（高等学校1年・LHR）

(ア) 題材名「あなたが職業に求める価値は？」

※ワークシートを活用（グループ活動：4～6人）

(イ) ねらい

職業について自分にとっての価値の順位付けを行う活動を通じて、「自分の価値観」（自己理解）を深めることと、「他の価値観」（他者理解）に触れることで、自分の職業観を明確にする。

(ウ) 留意点

- a 自分の価値基準で職業における価値の順位付けをさせる。
- b 自己の考えに対する他者の意見を受け止めさせる。

(エ) 活動の実際

過程時間	主な学習活動	留意点
導入 (5分)	1 アイスブレイキング(二者択一)を行う。 職業についての既存の知識を活用して、職業推理エクササイズを行う。	○ 楽しい雰囲気をつくる。 ○ 職業推理エクササイズを使った活動の流れを説明する。
展開 (40分)	2 自分の「関心が高い」職業を考える。 3 その職業で達成できると思う価値を選択し、順位付けをする。 4 一人ずつ価値の順位を発表し、価値の順位から発表者の職業を推理する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">意見交換・情報提供・質問をしながら、推理していく。</div> 5 グループの各人が自分の考えと、順位付けの理由を説明する。 6 活動を振り返り、感想を記入する。 7 感想を発表する。 8 気付いたこと感じたことをワークシートにまとめる。	※ 職業については、事前に考えさせておく。 ・ 生徒の価値観を主体的に考えさせる。 ・ 他人の発言を肯定的に受け止めさせる。 ・ 受容的受け止め方を意識させる。 ・ 自己の価値観を理解させる。 ・ 他者の価値観を受け止めさせる。 ・ 共通点、相違点を明らかにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">他人の意見や理由を否定しない。価値は絶対的なものではない。</div> ・ 一人一人の考えが違うことでいろいろな価値観があることに気付かせる。 ・ 意思決定をした選択肢の理由を述べることで、自分の考えに根拠をもたせる。
終末 (5分)	9 次時の予告を聞く。	○ 次回の進路学習に役立てるためにファイルに綴じさせる。

職業名を記入したら、裏に折って隠す。

ワークシート

職業名

- 1 上に書いた職業について、自分が考える価値の順位を付けよう。

価値		順位
名声	知名度が高く、信頼され、社会的地位や名誉があること	
経済	高収入・高賃金であること	
環境	実家に近いなど地理的条件、仕事場所や環境が快適であること	
社会奉仕	責任があり、社会や人のために役立つこと	
安心	会社がつぶれたりという心配がなく安定していること	
個性	自分の個性（適性・性格・趣味等）を生かすことができること	
創造	独自のものを創りだしたり、工夫したりすること	
- 2 友達が発表した価値の順位から、友達の職業を推理しよう。

名前	名声	経済	環境	社会奉仕	安心	個性	創造	職業
- 3 活動後の感想を書こう。

感じたこと・考えたことを肯定的に受け止め、前向きにとらえた感想を書く。

記入した職業について、次の価値に1から7まで、今の自分が考える順位を記入する。

情報交換や質問をしながら、推理した職業を記入する。